

(法第 28 条第 1 項関係様式例)

令和 4 年度事業報告書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

(NPO 法人ちばりーの)

1 事業の成果

(1) 障害児通所支援事業

今年度は、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業の多機能型事業、地域生活支援事業として日中一時支援を行った。保育所等訪問支援事業は、休止を継続し現利用者の支援として保育園等への送迎時や電話等で子どもの支援の在り方について担任の先生方と情報を共有した。

7月に職員の新型コロナウイルス感染が確認され事業所を2日間閉鎖しPCR検査、利用者の在宅支援を行った。隣接の事業所の協力も経て感染者が広がることもなく、療育の継続を行うことができた。サービスマ継続支援助成金を活用し、パートスタッフ含む職員へ割増手当を支払うことができた。また、職員の子どもが濃厚接触等で休まなければならぬときは、小学校等休業対応助成金で給与の保証を行った。

職員のコミュニケーション、学習の保障はオンラインでの参加、支援学校の進路指導の先生にお越しいただき就労についての学習を行った。2事業所での学習会は2回連続で行い、地域療育センターの巡回の先生にお越しいただき、保護者、担任の先生、相談員、キッズセンターの先生に支援を受け、統一した支援を行うスタートに立っている。また県より虐待防止の研修に来ていただき全員で虐待について学習できたことは意義を感じた。支援会議には、パート職員も参加し、個別支援計画の内容を周知した。子どもとの距離が近くなる職種ゆえ新型コロナウイルス感染への職員のストレスは計り知れないが、この一年を乗り越えられたことは財産となっている。基本の「密を避ける、手洗い、マスク着用」を日々行い、室内、玩具、車の消毒も欠かすことなく行った。

① 児童発達支援

親子療育を基本とし子どもの変化をその場面で伝えることで、大人の声掛けのタイミングや、子どもの意思を保護者と確認し「待つ」ことの大切さを共有した。さらに特性や年齢に応じた曜日編成を行うことで、お友達の刺激を受け成長する姿が見られた。療育での変化が徐々に家庭や保育園等でも見られるようになっていくことを保護者、担任の先生方との連携で確認することが出来ている。また体制が取れるときは、客観的に子どもを記録するスタッフを置くことで、目の前の子どもに集中して療育を行い、記録を振り返り翌週につなげている。保護者懇談会は、他所で開催された懇談会にも職員・保護者で参加している。事業所独自でも、少人数で要点を絞っておこなった。また、先輩保護者より学校選びで迷ったこと等保護者目線での話し合いができ、その後早速学校見学を実施された保護者もおられた。

② 放課後等デイサービス

前年度提示していた「デイサービスからの卒業」について1年間をかけて取り組みを行った。下級生へ活動の伝承を行うことで、下級生が見通しを持ち来所する目的が明確になった。

個別活動を行い、子どもの動向、言葉に耳を傾け具体的に記録を行い職員間で共有した。

また、子どもの「自分はこうしたい」という発信を受け入れることで、大人が求める行動ではなく、「自分が今したいこと」を伝えられるようになってきている。意思を伝え、受け入れられる事で他者の話を受け入れる力がついてきている。

また、土曜日を中心に縦のつながりを作りたいと、地域の中学校に通う卒業生に往復はがきを出し、環境整備に参加していただいた。この取り組みは、令和3年12月から現在も続いている。卒業生の保護者に何うと楽しみにしているとのこと。支援から離れた子どもが社会から孤立しないためにもこのような活動は今後も継続していきたいと考える。中学生にとっての安全基地(困ったときに相談できるところの一つ)でもあり、現在の利用者の見通しにもなっている。今後この活動に参加する後輩のために、ルールを作ってもらっている。3月の有明圏域の子ども部会での活動について発表の依頼を受け行った。

(2) 地域生活支援事業

放課後等デイサービスを利用している方で支給日数を越えての事業所利用、放課後等デイサービス終了後保護者の迎えまでの見守りを事業として行った。放課後等デイサービスの人数が定員に達しているため、新規は受けていない。延べ人数は減っている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従 事 者 の 人 数	受 益 対 象 者 の 範 囲 及 び 人 数	支 出 額 (千円)
① 児童福祉法に基づく児童通所支援事業	児童発達支援の親子療育、放課後等デイサービスを行い発達に 応じた療育を行う	通年	法人施設 荒尾市野原 字西原 八八番地	スタッフ 4名 パート 8名	荒尾市とそ の近郊の名	31,293 千円
② 地域生活支援事業 日中一時 支援事業	障がい児の一時預かりを行う	通年	法人施設 荒尾市野原 字西原 八八番地	スタッフ 1名 パート 8名	荒尾市とそ の近郊の名	178 千円